

はじめに

平成27年の世界経済は、中国経済の減速、米国の利上げ、原油価格の下落、新興国・資源国の景気低迷などにより先行きに不透明感が増しており、我が国においては、円安基調にもかかわらず輸出が伸びない等アベノミクスの第3の矢による景気の回復は未だ途上にあるとの感が否めない状況にあります。

このような中、平成27年における神戸港のコンテナ取扱個数は、前年比3.4%増（神戸市速報値）と震災後最高となり、とりわけ内貿コンテナ貨物取扱個数が過去最多を記録したことは、政府はじめ神戸港関係者の皆さまによる集貨、創貨、競争力強化の具体的な成果の現れであります。今後とも、さらなる国際コンテナ戦略施策の推進により、益々の港勢拡大が大いに期待されるものと考えております。

さて、弊協会における平成27年4月から12月の運営状況ですが、不採算店舗の退店を進める一方で、食堂価格を据置くなど提供サービスの維持、向上に努めた結果、食堂事業においては、店舗当たりの売上は前年同期比8.1%の増加、コンビニ事業においても、前年同期比19.4%の増加となっております。

平成28年度においては、翌年度に予定されている消費増税に備え、電力の自由化、及び熱源のプロパンガスの現行ボンベ形式からより低コストの定置型バルクタンク形式への変更によるエネルギーコストの削減などさらなるコスト削減策を図るとともに、創意工夫による食堂、コンビニ、及び住宅の利用増を目指してまいり所存であります。

また、来年の神戸開港150年を記念する事業の一環として、神戸市が進める総合福利厚生施設（仮称・ポートセンター）の整備事業に積極的に協力してまいります。

今後とも、職員が一丸となって、喫緊の課題である財政再建に向けた取り組みをさらに前進させていくとともに、これまで以上に福利厚生サービスの向上に努めてまいりますので、従前と同様、関係各位のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

1. 施設管理運営事業

(1) 総合厚生（福祉センター）施設の管理運営

中央福祉センター（食堂・売店・喫茶・会議室・テニスコート）及び第一福祉センター（食堂・売店・喫茶・会議室・浴場）について、それぞれの業務内容を活かした運営に努めるとともに、より一層の利用促進を図ってまいります。

(2) 港湾労働者休憩所（ピアハウス）の管理運営

兵庫ふ頭から六甲アイランドまでの地域に設置するピアハウス10ヶ所において運営する食堂等については、協会における中核的事業であり安定的運営の確保に一層努力してまいります。なお、美化・清掃などの環境の保全・整備に努め社会や利用者のニーズに対応したきめ細かなサービスを通じ、より一層の利用促進に努めてまいります。

また、緊急時の対応として、5ヶ所のピアハウスにおいて災害対応自動販売機等を設置しており、今後順次増設してまいります。

(3) コンビニエンスストア（ピア）の管理運営

港湾の364日24時間荷役に対応するため、神戸港の西部・東部地区に拠点設置している2ヶ所のコンビニエンスストアについて、今後とも安定的運営に努力してまいります。なお、美化・清掃など環境保全・整備への取組みなどきめ細かなサービスを通じ、より一層の利用促進に努めてまいります。

また、神戸港の中央部地区については、軽食や飲み物などを提供する自動販売機を設置し、24時間対応のイトインコーナーとして運営してまいります。

(4) 住宅（世帯者）施設の管理運営

鈴蘭台一ツ楯山共同住宅（196戸）、国産波止場共同住宅（165戸）及びコーポ西町共同住宅（40戸）の世帯者用共同住宅について、より快適な生活・住環境を提供するため、補修等維持管理に万全を期すとともに、より一層の利用促進に努めてまいります。

なお、国産波止場共同住宅については、平成27年10月からの入居要件緩和により一定の効果が見られており、今後とも利用促進を図り、入居率・収益性の向上に努めてまいります。

(5) 住宅（単身者）施設の管理運営

神戸港湾寮（57室）・神戸みなと寮（12室）及び第一福祉センター（35室）の単身者用住宅（宿舍）の管理運営を行います。

(6) 港湾労働者休憩所の管理運営

本年度も神戸市からの業務委託を受けて、港湾労働者休憩所18ヶ所（兵庫、新港、摩耶、ポートアイランド及び六甲アイランドの各地区に設置）の清掃、冷暖房設備の運転・維持管理及び湯茶の提供等の管理運営を行うことにより、港湾関係労働者の福利厚生への推進に努めてまいります。

2. 施設整備事業

(1) 港湾厚生施設整備補助事業

既存厚生施設について、本年度も神戸市からの補助を受けて、施設の整備・改修及び維持保全に努めてまいります。

(2) 日港福助成施設整備事業

施設整備事業として、一般社団法人日本港湾福利厚生協会からの助成を受けて本年度は次の整備事業を実施し、港湾関係労働者の生活・住環境の改善を図ってまいります。

＜施設整備名＞

- ・国産波止場共同住宅1～3号館外部建具及び流し台改修他工事
- ・ピア六甲店内装改修工事

3. 助成・補助等事業

(1) 契約保養施設利用助成

福利厚生の一環として、契約保養施設（全国95ヶ所）の利用に対して助成を行うことにより、神戸港で働く方やそのご家族の余暇の活用を促進を図り、港湾関係労働者の福利厚生への推進に努めてまいります。

(2) 各種技能訓練への補助

公益社団法人神戸港湾教育訓練協会及び港湾労災防止協会兵庫県総支部が実施する各種技能訓練への補助を通じて、港湾関係労働者の技能の向上を側面的に支援し、神戸港における港湾運送事業の発展に努めてまいります。

(3) 港湾殉職者慰霊祭の実施

本年度も第38回港湾殉職者慰霊祭を港湾殉職者顕彰碑運営委員会と共催の上例年どおり実施し、殉職者の慰霊とともに、広く労働災害防止意識の高揚に努めてまいります。